

# SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 多様な事象と多様な事実 (07年の始めに)

2007年が明けた。今年はどうなるか、新聞等が一斉に報じているが、私自身はいつも「話半分に聞く」ことにしている。何故ならば、予想はいつも予想であって当たらないのが当たり前であるからであるが、その根底にはたった一つの経済事象に対しても幾つもの、否多様な事実があると思っているからだ。事実は、それを語る人の数だけ存在すると云っていいほどである。

例えば昨年の流行言葉となった「格差」という経済事象をとっても、その発生原因、その社会的経済的影響度、そしてそれへの対応策等を見ても、語る人によってかなり違う事実が引き出される。それは「格差」という言葉の曖昧性に起因している面もあるが、それはほんの一部の原因でしかない。一つの事象に対し多くの事実が存在するというのは、事実は人によって異なるという根本的な所に起因している(と思う)。

そんな私が金融・経済に関するレポートを皆さんに発信してきた。最初に出したのが96年の春頃だったからもう11年近くになる。その間、自分の考え、自分の見方、言い換えれば自分の事実を、自分以外の方に送ってきた。送られてきた方は、私の事実を押しつけられて「いい迷惑」だったかもしれないが、私の方はある種爽快感があった。自分の中のもやもやとした部分を文章という形に発散できたからだ。そして、常に「何を書くか」という視点で色々な経済金融事象を学ぶことができたからだ。

書くという行為は考えをまとめるのに極めて役に立つ行為である。私はそれを他人に披瀝することを一つの仕事として選択した。「一介の元銀行員として中小企業経営者に伝えたいことがある」という始めた動機に偽りはなかったが、今にして思えば、かなり厚顔無恥な選択だった。それでもそれを乗り越えさせてくれたのは、勿論第一に購読者の存在があるが、それ以外にも励みとなる意見も大きかった。

ある尊敬する文学者が、「どんな駄文を書く者

も、3年も書き続けるとそれなりにプロとしての文章を書けるようになる」と書いていた。「そうなんだ」とこの言葉を励みとした。又、ある社長は私がレポート送信を始めた頃「継続は力なり」として、「3年続ければ銅、5年で銀、10年やり続ければ金だ」と云った。その時、何としても10年は続けたいと思った。そして、昨年春10年が経ち、内心ほっとした。

駄文を書き続けて10年、それに何ほどのことがあるとは思えないが、「気付く」「実行する」「継続する」という側面から見れば、続けるという行為にはかなりの価値がある。

人には、先ず「気付く」ことに第一の壁がある。気付くこと自体がそれほど簡単なことではないからだ。私達の周りを様々な事実が通り過ぎていくが、気付くにはそれなりの姿勢が求められる。しかし、更に難しいのは、気付いたことを実行に移すことである。気付いても実行に移さない人が大半ではないだろうか。そして、実行に移しても続けることが又難しい。続けても実になるとは限らない。でも続けなければ実を結ばないことは少なくない。

私達の前に立ち足る3つの壁、「気付く」「実行する」「続ける」は、これからも大きな課題だと思うのだ。

さて、全く話は変わるが、今年の経済金融事象で最も留意すべきものは何かと問われれば、私は「長期金利です」と答える。それは私の一つの事実に過ぎないが、為替の変動も、株価が上がるか下がるかも、地価が上がるか下がるかも、更には資源価格が上がるか下がるかも、長期金利が鍵を握っていると考えている。

今、世界の主要3局(日米欧)の長期金利は奇妙なバランスの上に安定している。日本の超低金利が米国の貿易赤字を埋める一方、日本の巨額債務を側面から支えている。欧州の長期金利は日米の中間にあり、金利差でお金が動くようにバランスをとっている(ように見える)。

問題は、この低金利バランスが世界中で資産価格の高騰をもたらしていることである。長期金利の低位安定が、生産性向上等を背景とした持続的経済事象なのか、あるいは一時の夢なのか、よく判らない。判っているのは、金利が数%上がるだけで世界中で問題が噴出するということである。

Weekly Fax Report

《複製・転載等はこちらへご連絡下さい》

URL: [http://www.hi-ho.ne.jp/smc\\_toyo/](http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/)

2007.1.6(第539号)

TEL.0438-53-6092 FAX.0438-53-6096

Email: [smc\\_toyo@hi-ho.ne.jp](mailto:smc_toyo@hi-ho.ne.jp)